



金井中だより



〒952-1208 新潟県佐渡市金井新保乙40番地 TEL 0259-63-4107
<E-mail> kanai-js@sado.ed.jp <HP> <http://kanai-js.sado.ed.jp/>

“未来”は、創るもの！

校長 雑賀 裕

大小たくさんの方の行事をこなし、また、部活動や委員会など3年生から1・2年生への世代交代が始まった2学期でしたが、本日、充実と飛躍を感じながら終業式を迎えることができました。生徒の皆さんの頑張りを心から讃えたいと思います。

さて、先日の「いじめ見逃しゼロスクール集会」では、問題提起「劇」を受け全校で話し合いを行いました。活動の終盤で、『たとえ相手に原因があったとしても、それを理由に大勢で人をいじめるのは、あってはならない』等の生徒会本部からのメッセージがとても印象的でした。そのことを受け、本日の終業式では、令和3年度「第40回全国中学生人権作文コンテスト」内閣総理大臣賞受賞作品(松山陽奈さん<宮城県・仙台市立仙台青陵中等教育学校>「みんなのヒーロー」)を紹介しました。作者は、偏見や差別に対する葛藤と、その後、自分が変わることで優しさがあふれる未来を切り開いた経験を作文にしたためていました。(https://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken40_2021.html)

明日から、冬休みとなります。新しい年を迎えるタイミングに、家族と一緒に、自らの成長目標を設定し、優しさあふれる学校・社会について考える時間をもってほしいと願っています。それでは、よいお年をお迎えください。



生徒の活躍の記録

○未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール 第九管区海上保安本部

第3位 2年：金田 梓

○両津インドアソフトテニス大会 (12/9)

中学男子の部 第2位 2年：菺山 瑛太・2年：寺澤 一心

○新潟県アンサンブルコンテスト中学生の部 (12/9)

銅賞 金井中学校吹奏楽部 管楽打楽器五重奏、管楽五重奏

○いきいきわくわく科学賞2023(新潟県児童生徒科学研究発表会)

中学校物理・化学の部 奨励賞 1年：田崎 葉南、奨励賞 1年：中川 優希

中学校生物・地学の部 奨励賞 1年：梅川 燈春

お知らせ

12月29日(金)～1月3日(水)は年末年始休業日となります。この期間、学校への電話は留守番電話対応となります。大きな事故などの緊急性が高いものについては、メッセージをお願いします。

生徒会役員選挙

12月4日、令和6年度の生徒会三役を選ぶための立会演説会と投票が行われました。立候補した7名の生徒とその責任者が、力強く所信表明や応援演説を行いました。投票の結果、次の生徒が新三役に決定し、13日の認証式で校長先生から委任状が渡されました。新本部役員や専門委員長を選出する活動も始まりました。新しいリーダーたちが全校生徒を引っ張り、全校が一体となって金井中学校をよりよい学校にしていくことを期待します。



新生徒会会長 祝 美優

私は一人一人の意見が反映される学校にしたいと思っています。そのため、意見箱の活発化に力を入れたいと思います。また、意見しにくいと思う生徒が安心して発言できる環境づくりにも努めたいです。先輩方が築き上げた伝統を受け継ぐと共に、自分なりの新しい生徒会を創り上げます。今しかない学校生活が皆さんにとって充実したものになるよう全力を尽くします。

新生徒会副会長 安藤 瑞妃

私は、あたたかい雰囲気のある学校を目指します。そのために、褒め褒めタイムに取り組みます。褒め褒めタイムに取り組みむことで、人のいいところに気付き、伝えることもできるようになり、ポジティブな言葉に溢れるあたたかい雰囲気のある学校にするための第一歩になると考えています。褒め褒めタイムなどの生徒会活動へのご協力をよろしくお願い致します。

新生徒会副会長 福田 翔真

僕はみんなが自分の居場所のある気持ちの良い学校を目指して、日々一歩一歩前進できるよう頑張っています。これから生徒会活動を通して皆さんと一緒に活動する機会が増えると思います。その時はご協力よろしくお願いします。この1年間で皆さんの笑顔を増やせるように、全力で取り組みたいと思います。応援よろしくお願いします。

新応援団長 土屋 友晴

僕は、全校が元気のよい大きなあいさつができるように、自分から大きいあいさつをして全校を引っ張れる存在になります。全校があいさつを通して明るくなれば学校が明るくなると思います。笑顔であいさつをすることで、全校が気持ちよく学校生活を送れると思います。これから皆さんで元気のよい大きなあいさつを目指して頑張りましょう。

いじめ見逃しゼロ集会

12月18日(月)、『いじめ見逃しゼロスクール集会』を開催しました。

まず、各専門委員会及び各学級から、11月の「いじめ見逃しゼロ強調月間」で取り組んだ活動の発表がありました。それぞれの委員会・学級が成果と課題を報告し、今後につなげようとしていました。

次に、生徒会本部役員が2つのいじめ事案の寸劇を演じ、それぞれの劇のあと、全校縦割りの全24グループに分かれて、加害者、被害者、傍観者、観衆はそれぞれどんな行動をとればよかったのか等の視点で話し合いを行いました。そして、班の代表者が意見を発表し、全校で考えを共有しました。



最後に、生徒会本部生徒から、「強調月間の取組やこの集会で学んだことをここで終わりにせず、いじめをしない、見逃さないために、これからも日々全校で協力していこう」と呼びかけがなされました。

生徒たちはしっかりと発表を行ったり活発に意見交換したりして、全校でいじめ問題について考えを深める、大変有意義な集会になりました。

ご家庭でもいじめ問題を話題にさせていただきたいと思います。学校(教職員・生徒)と家庭(保護者・家族)、さらには地域(住民)みんなで協力して、いじめ問題に取り組んでいきたいです。